

## Ⅱ 「日本語方言立ち上げ詞の研究」調査票

### I、自己の自発的な行動を立ち上げるために、自己に向かって発信する「立ち上げ詞」

- (1) 「どっこいしょ」:肩に担(かつ)いでいた荷物を降ろして休憩します。縁側に腰をかけて独り言を言います。  
○「どっこいしょ。一休みしよう。」というのをどのように言いますか。
- (2) 「どうれ」:一休みした後、腰を上げて出かけようとする時の言い方です。  
○「どうれ。出かけることにしよう。」というのをどのように言いますか。
- (3) 「よいこらしょ」:急な坂道をやっとの思いで登りきった時の言い方です。  
○「よいこらしょ。とうとう山の天辺に着いた。」というのをどう言いますか。
- (4) 「しまった」:足を滑らせて崖(がけ)から落ちそうになった時の言い方です。  
○「しまった。もうちょっとで落ちるところだった!」というのをどのように言いますか。
- (5) 「くわばらくわばら」:崖から滑り落ちそうになって、命拾(いのちびろ)いをした時の言い方です。  
○「くわばらくわばら。恐ろしかった!」というのをどのように言いますか。
- (6) 「しめた」:川で魚釣りをしている時に浮きがピクピク動きました。その時に思わず発する言葉です。  
○「しめた! 今度の魚は大きいぞ。」というのをどのように言いますか。
- (7) 「ままよ」:橋が架(か)かかっていない小川がありました。それを飛び越えなくてはならない場合に、勇気を出して言います。  
○「ままよ。飛び越えるしかない。」というのをどのように言いますか。
- (8) 「なにくそ」:相撲などで負(ま)けそうになった時に、踏ん張って頑張ります。その時の言い方です。  
○「なにくそ! 負けてなるものか。」というのをどのように言いますか。
- (9) 「しめしめ」:どろぼうが、他人の家に忍び込んで、盗みを働く時の言い方です。  
○「しめしめ! 誰も気がついていない。」というのをどのように言いますか。
- (10) 「ちえっ」:気の進まない用事を頼まれて、不満そうに言う時の言い方です。  
○「ちえっ。つまらないなあ。」というのをどのように言いますか。
- (11) 「ちくしょう」:喧嘩(けんか)で、やられた方が反対にやり返す時の言い方です。  
○「ちくしょう! 仕返しをしてやる。」というのをどのように言いますか。
- (12) 「くそっ」:歯ぎしりをして悔しがり、自分の気持ちを奮(ふる)い立たせる言い方です。  
○「くそっ! 覚えている!」というのをどのように言いますか。

- (13) 「おやおや」:孫が泣いて帰って来た時に、驚いて言います。  
 ○「おやおや、いったいどうしたの。」というのをどのように言いますか。
- (14) 「えへん」:いばったり得意になったりして、他人の注意を引く時の言い方です。  
 ○「えへん、えへん。吾輩は村一番の力持ちじゃ。」というのをどのように言いますか。
- (15) 「はてな」:知らない土地で、道に迷って、どうしたらいいか判らなくなった時に独り言を言います。  
 ○「はてな、ここはどこだろう?」というのをどのように言いますか。

## Ⅱ、他者の発話に呼応して、応答の発話を立ち上げる「立ち上げ詞」

- (16) 「はい」:目上の人から用事を頼まれた時の丁寧な返事です。  
 ○「はい、承知いたしました。」というのをどのように言いますか。
- (17) 「宜(よろ)しゅうございます」:目上の人から「良いですか。」と念を押して聞かれた時、丁寧に応えます。  
 ○「はい。宜しゅうございます。」というのをどのように言いますか。
- (18) 「ええ」:町内会の集まりで「山田さん、居ますか?」と聞かれて応えます。  
 ○「ええ、ここに居ます。」と応える時、どのように言いますか。
- (19) 「んだ」:年下の人から「この傘はあなたの傘ですか?」と聞かれた時の返事です。  
 ○「んだ。私の傘です。」というのをどのように言いますか。
- (20) 「さよう、さよう」:友達に「そうだ、そうだ」とあいづちを打つ言い方です。  
 ○「さよう、さよう。あなたの言う通り。」と応える時、どのように言いますか。
- (21) 「ほいきた」:待ち望んでいた用事を、勇んで引き受けたい時の返事の言い方です。  
 ○「ほいきた。おやすいご用です。」というのをどのように言いますか。
- (22) 「よっしゃ」:覚悟(かくご)を決めて、いさぎよく応える時の言い方です。  
 ○「よっしゃ。やりましょう。」というのをどのように言いますか。
- (23) 「よしきた」:頼まれた仕事を、喜んで引き受ける時の言い方です。  
 ○「よしきた。お引き受けいたしましょう。」というのをどのように言いますか。
- (24) 「がってんだ」:「一緒に行きましょう。」と誘われて、直ぐに賛成します。  
 ○「がってんだ。一緒に行きましょう。」というのをどのように言いますか。
- (25) 「かっぱのへだ」:少しおどけて、「その用事は簡単だ、へいっちゃらだ。」の意味で応えます。  
 ○「かっぱのへだ。簡単だ。」というのをどのように言いますか。

---

(26) 「いえいえ」:お礼を言われて、かえって恐縮(きょうしゆく)し、丁寧に返事をします。

○「いえいえ、とんでもございません。」というのをどのように言いますか。

(27) 「なんの」:否定の言い方です。友達に言う「いえい」に当たる言い方です。

○「なんの、たいしたことではございません。」を、どのように言いますか。

(28) 「なあに」:友達に、軽く受け流す感じで返事をする時の言い方です。

○「なあに、擦り傷(すりきず)ぐらい、すぐ治るさ。」を、どのように言いますか。

---

(29) 「なにさ」:友達に反撥(反発)して投げつけるように言う時の言葉です。

○「なにさ、いつも調子の良いことばかり言って!」を、どのように言いますか。

(30) 「いやはや」:話題の処理に戸惑い、半ば呆(あき)れた感じの時の言い方です。

○「いやはや、とんだ目に遭(あ)いました。」というのをどのように言いますか。

(31) 「へん」:反撥して言い返す時の言い方です。

○「へん、勝手にしやがれ。」をどのように言いますか。

(32) 「なめるんじゃねえよ」:「馬鹿にするな」と怒って相手に怒鳴りつける時の言い方です。

○「なめるんじゃねえよ。こいつ!」というのをどのように言いますか。

(33) 「冗談じゃない」:相手の言葉をさえぎり、怒って反撥する言い方です。

○「冗談じゃない。口から出任せを言って!」をどのように言いますか。

(34) 「だまらっしゃい」:喧嘩腰(けんかごし)になって、相手の言葉をさえぎる時の言い方です。

○「だまらっしゃい。出鱈目(でたらめ)ばかり言って!」と烈(はげ)しく言う時、どのように言いますか。

(35) 「そうは問屋がおろさねえ」:相手の言葉に反対して、こちらの意見を言い返す時の言い方です。

○「そうは問屋がおろさねえ。黙(もく)ってられねえ。」というのを、どのように言いますか。

(36) 「うそもへちまもありやしねえ」:でたらめを言うな、と怒って、少し戯(ふざ)げ気味に、決まり文句で言い返します。

○「うそもへちまもありやしねえ。我慢(がまん)できねえ。」というのを、どのように言いますか。

(37) 「寝言は寝ていえ」:「出鱈目だ、間違いだ」の意味で、喧嘩腰になった時の言い方です。

○「寝言は寝ていえ。このやろう。」と言うのをどのように言いますか。

(38) 「あたりきしやりきのけつのあな」:当然だ、当たり前だ、と相手の言葉に反撥

し、ややふざけて言い返す時の言い方です。

- 「あたりきしやりきのけつのあな。あたり前だ!」を、どのように言いますか。
- (39)「きみようきてれつ」:俄(にわか)には信じ難くて、疑わしい話の場合に、滑稽(こっけい)みを込めて言います。
- 「きみようきてれつだ。それは変だ」というのをどのように言いますか。

(40)「ほほう」:驚いたり感動したりした時の気持を表す言い方です。

- 「ほほう、それは親孝行なお子さんですね。」というのをどのように言いますか。
- (41)「まいった、まいった」:気がついた時には、既に物事が決まっていた自分の力だけでは、どうしようもないような場合の言い方です。
- 「まいったまいった。しかたがない。」というのをどのように言いますか。

### Ⅲ、他者との関係を立ち上げるために、他者との言語情報を結節する「立ち上げ詞」

(42)「もしもし」:知らない人に道を尋ねる時の言い方です。

- 「もしもし、すみません。役場はどこにありますか。」というのをどのように言いますか。
- (43)「のうのう」:旅のお客に声をかけてお店へ招き入れる時の言い方です。
- 「のうのう、旅の人。お立ち寄り下さい。」というのをどのように言いますか。
- (44)「ほら」:相手の注意を引きつけ、話題をこちらに向けさせる時の言い方です。
- 「ほら、ご覧下さい。向こうに公園があります。」をどのように言いますか。
- (45)「やいやい」:目下の者や子供に声をかけて注意し、止めさせる時の言い方です。
- 「やいやい。こんなに朝早くからどこへ行くんだ?」というのをどのように言いますか。
- (46)「よう」:男同士の会話で、少し気軽に声をかける時の言い方です。
- 「よう、兄弟。これから何をするつもりだい?」というのをどのように言いますか。
- (47)「いざ」:人とお別れする時に、少し気取ってお別れの挨拶を言うことにします。
- 「いざ、さらば。」というのをどのように言いますか。
- (48)「ささ」:お客さんに丁寧に物を薦(すす)める時の言い方です。
- 「ささ、ご遠慮無く、召し上がって下さい。」というのをどのように言いますか。
- (49)「さて」:相手の気持をこちらに引き寄せて、話題を他に移す時の言い方です。
- 「さて、そろそろ一服しませんか。」というのをどのように言いますか。
- (50)「これこれ」:叱ったり、注意したりする時の言い方です。

- 「これこれ、ちょっと静かにしなさい。」というのをどのように言いますか。
- (51)「おい、こら」:叱る時の言い方です。万引きの場面で、注意します。
- 「おい、こら。万引きをしてはいけない。」というのをどのように言いますか。
- (52)「おどりゃあ」:子供を厳しく叱(しか)る時の言い方です。何度注意しても効果が無いときの言い方です。
- 「おどりゃあ。いい加減にしないか!」を、どのように言いますか。
- (53)「おのれ」:悔しさや口惜しさや憤(いきどお)りの気持ちを、投げつける時の言い方です。
- 「おのれ、裏切りやがったな。」というのをどのように言いますか。
- (54)「どっこい」:押し売りの言葉につられて、要らない物まで買わされそうになった時の言い方です。
- 「どっこい。その手には乗らない。」というのをどのように言いますか。
- (55)「どうだ」:窮地(きゅうち)に追い込んで、白状させたり、降参させたりする時の言い方です。
- 「どうだ、参ったか?」というのをどのように言いますか。
- 
- (56)「せいの」:一斉に力を出し合って、溝(みぞ)にはまった車を引き上げる時の言い方です。
- 「せいの、よいしょ!」というのをどのように言いますか。
- (57)「ようい」:みんなで一斉に力を出し合い徒競走をする時の合図です。
- 「ようい、どん!」というのを、どのように言いますか。
- (58)「いっせいの、で!」:みんなで一斉に力を出し合って荷車を押す時のかけ声です。
- 「いっせいの、で!」というのをどのように言いますか。
- (59)「よいしょ、よいしょ」:皆で一緒に荷物を運ぶ時のかけ声です。
- 「よいしょ、よいしょ、もう一息だ!」というのをどのように言いますか。
- (60)「うんとこしょ、どっこいしょ」:みんなで力を合わせて物を引っ張る時のかけ声です。
- 「うんとこしょ、どっこいしょ。もう少しだ。」というのをどう言いますか。
- (61)「わっしょい、わっしょい」:お御輿をみんなで力を合わせて担ぐ時のかけ声です。
- 「わっしょい、わっしょい、祭りだ、わっしょい。」というのをどのように言いますか。
- (62)「はじめはぐう、じゃんけん、ぼん」:勝ち負けを決める時の石拳(じゃんけん)のかけ声です。
- 「はじめはぐう、じゃんけん、ぼん! あいこでしょ。」というのをどのように言いますか。

(63) 「きをつけえ、まえへならえ、なおれ」: 一列に並んだ子供が両手を上げて列の曲がったのを直す時のかけ声です。

○ 「きをつけえ、まえへならえ、なおれ。」 というのをどのように言いますか。

(64) 「きりつ、れい、ちゃくせき」: 教室で生徒が一斉に起立し、礼をして着席するまでの号令です。

○ 「きりつ、れい、ちゃくせき。」 というのをどのように言いますか。

---

(65) 「ばんざい」: 高校野球などで、応援をします。郷土代表の高校が勝ちました。

○ 「ばんざい、ばんざい。やった、やった!」 というのをどのように言いますか。

(66) 「えいえいおう」: 運動会の騎馬戦(きばせん)などで、試合の前に、円陣を組んで氣勢を上げる時の言い方です。

○ 「えいえいおう。頑張るぞ。」 というのをどのように言いますか。

(67) 「かんぱい」: 誕生日などで、会の初めにお酒で乾杯の音頭をとる時の言い方です。

○ 「中村君の誕生日を祝して、かんぱい。おめでとう。」 というのをどのように言いますか。

(68) 「やっほう」: 山や高台に登って、遠くの山に向かって大声で叫びます。

○ 「やっほう、やっほう。」 というとき、どのように言いますか。

(69) 「ふれえ、ふれえ」: 運動会などで、応援をする時の声援です。

○ 「ふれえ、ふれえ、白組。」 というのをどのように言いますか。

(70) 「おにはそと、ふくはうち」 2月の節分の日には、豆を撒(ま)いて厄払(やくばら)いをします。その時の言い方です。

○ 「おにはそと、ふくはうち。」 というのをどのように言いますか。

---

(71) 「べらぼうめ」: 子供がふざけて、悪いことをした時に叱ります。

○ 「べらぼうめ、とんでも無い子だ。」 というのをどのように言いますか。

(72) 「それみたことか」: 何度注意しても、改めないで、わがままに振る舞ういたずらっ子がいました。その子が失敗したのを見て言います。

○ 「それみたことか、わんぱく坊主。」 というのをどのように言いますか。

(73) 「ざまあ、みろ」: 注意したのに無視をしてふざけ続け、その結果、失敗しました。それを見て言います。

○ 「ざまあ、みろ。いい気味だ。」 というのをどのように言いますか。

(74) 「ちくしょうめ」: ひどく悪口を言われて悔しい時に、唇を噛んで言います。

○ 「ちくしょうめ、ひどいことを言いやがる。」 というのをどのように言いますか。

(75) 「このやろう」: 何度追い払っても生ゴミに集まる鳥に向かって、追い払う時の言い方です。

- 「このやろう。どうしてくれようか。」というのをどのように言いますか。
- (76)「たわけ」:ふざけたことを何度も言うので、たしなめて、言います。
- 「たわけ、ふざけた事を言うんじゃない。」というのをどのように言いますか。
- (77)「ばかやろう」:相手をけなして叱る時の言い方です。
- 「ばかやろう、いい加減なことを言うな。」というのをどのように言いますか。
- (78)「あなかま」:喧(やかま)しい、静かにしなさいという時の古い言い方です。
- 「あなかま、静かにしなさい。」というのをどのように言いますか。
- (79)「しいいっ」:静かにしてほしい時、唇を閉じて人差し指を当てて言います。
- 「しいいっ、静かにして!」というのをどのように言いますか。
- (80)「ちちんぷいぷい」:お呪(まじな)いです。死にかけた蛙を生き返らせる時に言います。
- 「ちちんぷい、蛙、蛙、生き返れ。」というのをどのように言いますか。
- (81)「あっかんべい」:鬼ごっこなどで、鬼に舌を出して逃げる時に、言います。
- 「あっかんべい、鬼さん、こちら。」というのをどのように言いますか。

- 
- (82)「あっぱれ」:池にはまっておぼれそうになった子供を、飛び込んで、ある青年が助けました。それを誉(ほめ)めます。
- 「あっぱれ、お見事。立派です。」というのをどのように言いますか。
- (83)「でかした、でかした」:カボチャの品評会で、一等賞になりました。それを見て誉めます。
- 「でかした、でかした。日本一。」というのをどのように言いますか。

- 
- (84)「しっけい」:誤ってお茶をこぼしたり茶碗をひっくり返したりした時のお詫びの言い方です。
- 「しっけい! すみません。」というのをどのように言いますか。
- (85)「あばよ」:仲の良い友達や目下の人と別れる時の言い方です。
- 「あばよ、達者でな。」というのを、どのように言いますか。

以上